### 記 例

# 農地法第3条第1項の規定による許可申請書



志木市農業委員会長 様

該当する権利の種類 を丸で囲んでくださ

印鑑は実印をお願 いします。

譲受人 氏名 志 木 太郎

譲渡人 氏名 宗 岡 次郎 EIJ

下記農地(採草放牧地)の(所有権) 賃借権・使用貸借による権利・その他使用収益権(

)]を(移転・設定(期間

年)]をしたいので、

農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

1. 申請者の氏名、住所、及び	申請	青者 F	氏 名	年 齢	職業	is.		住 所			備考
職業	譲引	受人 志才	大郎 太郎	5 5	農業	志	木市本町1	丁目1番1	号		
	譲》	度人 宗岡	別 次郎	6 0	農業		志木市上宗岡1丁目1番1号				
2. 土地の所在地、地番、地目、	土地の所在地 宗岡丸野		地番	地	目	面積(r	対信	E、賃料等	所有者の氏名	所有権以	外の権利の設定
面積、対価等			地 笛	登記簿	現況	1) 則但	の額	(円) /10 a	又は名称	権利の種類	権利者の氏名
			1 1 1 1	1 畑	畑	1 0 0	0 Q	200円	宗岡次郎		
登記簿等を参考に、土地	以下余白										
型記得等を参与に、工地 の情報を記入してくださ								情地の売買価格の10a(1,000 m²)あた			
の情報を記入してください。					90			の単価を記入してください。			
	計 1000m² (田 m² 畑 1000m² 採草放牧地 m²)								m²)		
3. 権利を設定、移転しようと	   譲受人   譲渡人は農業従事が困難となっているため、経営規模の縮小を考えていたところ、農業経営の規模拡大の意向										
する事由の詳細	譲渡	人があった	譲受人との間	で合音に達	目たため	当該由	目詰州を譲済	産する由請な	- 提出する		
4. 権利を取得しようとする者 又はその世帯員等が、現に所有	HX I/X	/	田		田 I	樹園		小計	採草族		 計
	_	 自作地	3 0 0 0		) О О m²	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	m²	9 0 0 0 :		m²	9000
権等を有する農地及び採草放	所	貸付地		m²	m²		m²		m²	m²	9000
性等を有する長地及の採草版 牧地の利用の状況	有	貝门地	 土地の声		111		111			111	
DATE 12 1 17 14 12 10 CD 0	, ,				の欄には、	それそ	ごれ自作し	ている農地	・貸し付に	けている農地	也
	地 _		σ,	面積を記	入してく	ださい。	)				
		非耕作地 [非耕作地]の欄には、現在耕作していない土地がある場合、その事由									产
	/										<del> </del>
	用	使用 用自作地 「所有地以外の土地」の欄には、賃借・使用貸借などで借り受けて使用 自作地								Ħ   '	
	収益権	貸付地	l	ている土地についての状況を記入してください。							<i></i>
		201012			1		 地目		<u> </u>		
	を 有		土地の所	在地	地番	登記簿		面積	(m²)	状況・理由	
	す					- 3	立 正 得   大	況   出入			理由
	る 農	-1 - + + + - / -				3	豆配得 光	況			理由
		非耕作地				3	立 記 得	況			理由
5. 権利を取得しようとする者	る 農		名	年 齢	職業		計者との続杯		日数	農作業経	理由
	る 農		名	年齢 60	職業			京 農業従事		農作業経験	険等の状況
又はその世帯員等の行う耕作	る農地	氏	名				請者との続杯	n 農業従事	300日 農	77 717 717	険等の状況 <b>30年</b>
又はその世帯員等の行う耕作 又は養畜の事業に必要な農作 業への従事状況、雇用労働力の	る農地世	氏 志木 太郎	名	6 0	農業		請者との続杯本 人	農業従事	300日 農250日 農	<b>操作業従事暦</b>	険等の状況 30年 25年
又はその世帯員等の行う耕作 又は養畜の事業に必要な農作 業への従事状況、雇用労働力の 状況等	る農地世帯	大志木太郎志木花子	名	6 0	農業		請者との続称 本 人 妻	農業従事	300日 農250日 農	是作業従事暦 是作業従事暦	険等の状況 30年 25年
5. 権利を取得しようとする者 又はその世帯員等の行う耕作 又は養畜の事業に必要な農作 業への従事状況、雇用労働力の 状況等 農業以外の職業をお持	る農地世	大志木太郎志木花子	名	6 0	農業		請者との続称 本 人 妻	農業従事	300日       250日       200日	是作業従事暦 是作業従事暦	険等の状況 30年 25年
又はその世帯員等の行う耕作 又は養畜の事業に必要な農作 業への従事状況、雇用労働力の 状況等 農業以外の職業をお持 ちの方は、【職業】欄に	る農地世帯	大志木太郎志木花子	名	6 0	農業		請者との続称 本 人 妻	農業従事	B O O 日 B D D B C D O 日 B B D B	是作業従事暦 是作業従事暦	険等の状況 30年 25年
又はその世帯員等の行う耕作 又は養畜の事業に必要な農作 業への従事状況、雇用労働力の 状況等 農業以外の職業をお持 ちの方は、【職業】欄に 現在の職業を記載し、農	る農地世帯	大志木太郎志木花子	名	6 0	農業		請者との続称 本 人 妻	農業従事	B O O 日	是作業従事暦 是作業従事暦	険等の状況 30年 25年
又はその世帯員等の行う耕作 又は養畜の事業に必要な農作 業への従事状況、雇用労働力の 状況等 農業以外の職業をお持 ちの方は、【職業】欄に 現在の職業を記載し、農 業従事がある場合には	る農地世帯員/常	志木       太郎         志木       花子         志木       三郎	名	6 0	農業		請者との続称 本 人 妻	意 農業従事	B O O 日	是作業従事暦 是作業従事暦 是作業従事暦	険等の状況 30年 25年 5年
又はその世帯員等の行う耕作 又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況、雇用労働力の 状況等 農業以外の職業をお持 ちの方は、【職業】欄に 現在の職業を記載し、農 業従事がある場合には 農業従事日数を書き加	る農地 世帯員 常季節	氏 志木 太郎 志木 花子 志木 三郎 雇・臨時雇		6 0 6 0 3 5	農業農業	申	請者との続桁 本 人 妻 子	意 農業従事	B O O 日	操作業従事暦 操作業従事暦 操作業従事暦	験等の状況 30年 25年 5年 いる機械
又はその世帯員等の行う耕作 又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況、雇用労働力の 状況等 農業以外の職業をお持 ちの方は、【職業】欄に 現在の職業を記載し、農 業従事がある場合には 農業従事日数を書き加 えてください。	る農地 世帯員 常季節	氏 志木 太郎 志木 花子 志木 三郎	から申請地ま	60 60 35 での平均距	農業農業農業	非	請者との続杯本 人 妻子	京 農業従事	B O O 日	操作業従事暦 操作業従事暦 保有して	験等の状況 30年 25年 5年 いる機械 い、申請地
又はその世帯員等の行う耕作 又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況、雇用労働力の 状況等 農業以外の職業をお持 ちの方は、【職業】欄に 現在の職業を記載し、農 業従事がある場合には 農業従事日数を書き加 えてください。 6. 信託の引受け該当の有無	る農地 世帯員 常季節	氏 志木 太郎 志木 花子 志木 三郎 雇・臨時雇		60 60 35 での平均距	農業農業農業を取得を取得	までは、またのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	請者との続杯本 人 妻子	意 農業従事	B O O 日	操作業従事暦 操作業従事暦 は 保 に で 使用す	験等の状況 3 0年 2 5年 5年 が、、る 機構地の
又はその世帯員等の行う耕作 又は養畜の事業に必要な農作 業への従事状況、雇用労働力の 状況 農業以外の職業をお持 ちの方は、【職業】欄に 現在の職業を記載し、農 業従事がある場合には 農業従事日数を書き加 えてください。 6.信託の引受け該当の有無 8.権利を取得しようとする者	1	氏 志木 太郎 志木 花子 志木 三郎 雇・臨時雇 員等の住所地 有 ・	から申請地ま	60 60 35 での平均距 7. 林	農業 農業 農業 離又は時 権利を取得	まずる者が 具	請者との続称 本 人 妻 子  年間延! が法人であ	京 農業従事	B O O 日	操作業従事暦 操作業従事暦 人保に 人保に で使 機械を中心	第の状況 30年 25年 5年 が、る申 が、るに、 が、るに、 が、るに、
又はその世帯員等の行う耕作 又は養畜の事業に必要な農作 業への従事状況、雇用労働力の 状況 農業以外の職業をお持 ちの方は、【職業】欄に 現在の職業を記載し、農 業従事がある場合には 農業従事日数を書き加 えてください。 6. 信託の引受け該当の有無 8. 権利を取得しようとする者 又はその世帯員等の農機具及	る農地 世帯員 常 帯 帯	氏 志木 太郎 志木 花子 志木 三郎 電・臨時雇 員等の住所地 有 ・	から申請地ま無	60 60 35 での平均距 7. 林 耕うん機	農業 農業 農業 離又は時 権利を取得 農 機 田植	まずる者が 具	請者との続称 本 人 妻 子 年間延! が法人であ	京 農業従事	B O O 日	操作業従事暦 操作業従事暦 人保等で機でで機がの種類	<b>食等の状況</b> 30年 25年 5年
又はその世帯員等の行う耕作 又は養畜の事業に必要な農作 業への従事状況、雇用労働力の 状況等 農業以外の職業をお持 ちの方は、【職業】欄に 現在の職業を記載し、農 業従事がある場合には 農業従事日数を書き加	る農地 世帯員 常季世 様	氏 志木 太郎 志木 花子 志木 三郎 電・臨時雇員等の住所地 有 ・ 類 量 数	から申請地ま	60 60 35 での平均距 7. 林	農業 農業 農業 を取得 農機 田植 1	間 する者 機	請者との続材本 人 妻 子 年間延! が法人であ	京 農業従事	300日 250日 B 200日 B 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	操作業従事暦 操作業従事暦 人保に 人保に で使 機械を中心	<b>食等の状況</b> 30年 25年 5年

## (記載要領)

- 1. 申請者が法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款又は寄付行為の写しを添付してください。
- 2. 競売、民事調停等による単独行為での権利の設定又は移転である場合は、当該競売、民事調停等を証する書面を添付してください。
- 3. [権利を取得しようとする者又はその世帯員等の状況] の世帯員等とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をい います。また、農作業経験等の状況とは農作業暦や、農業技術就学暦の年数等を記載してください。
- 4. [7] は該当する場合のみ、「別紙のとおり」と記載してください。生産法人としての事業等の概要を記した別添書類の記入をしていただきます。

# 農地法第3条第3項に係る追加記載事項

この用紙は、農地法第3条第3項に基づく許可申請をする場合にのみ提出が必要となります。

1. 適正な利用を確保する為の条件について	別紙契約書のとおり		
2. 地域との役割分担の状況 (地域の農業における他の 農業者との役割分担について、具体的にどのような場面でどのような役割 分担を行うのかを記載して下さい。			
3. その法人の業務を遂行する 役員のうち、その法人の行う耕 作又は養畜の事業に常時従事 する者の氏名及び役職等	氏 名	役 職	農作業に参画・従事する期間
4. その法人が耕作又は養畜の 事業を行う期間	,	月 ~	月

#### (記載要領)

- 1. 権利を取得しようとする者が、農業生産法人以外の法人である場合、又は、その者又はその世帯員等が農作業に常時従事しない場合には、許可申請書に加えて、本書類の記載をお願いします。
- 2. [1]については、適正に農地が管理されない場合に農地貸借契約の解約ができること・農地を明け渡す際の原 状回復に関すること・原状回復がなされないときの損害賠償及び中途の契約終了時における違約金支払い等に ついてなどの項目が契約上明記されているかを、実際の契約書で確認させていただきます。
- 3. [3][4]については、譲受人が法人である場合のみ記載をお願いします。